



2021年11月12日

各 位

会 社 名 石光商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石脇 智広
 (JASDAQ・コード2750)
 問合せ先 取締役管理部門長 吉川 宗利
 (電話番号 078-861-7791)

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の業績について、2021年5月14日に公表いたしました予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、業績予想について、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

1. 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	21,055	247	240	158	20円57銭
今回実績(B)	21,951	575	598	399	51円82銭
増減額(B-A)	895	328	358	240	—
増 減 率	4.3%	132.7%	149.0%	151.9%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	18,156	197	179	138	18円01銭

2. 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	18,242	160	111	14円45銭
今回実績(B)	19,212	279	190	24円72銭
増減額(B-A)	969	118	79	—
増 減 率	5.3%	74.2%	71.1%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	16,833	155	116	15円07銭

3. 差異の理由

(1) 連結

当第2四半期連結累計期間の売上高及び利益につきましては、主として「(2) 個別」の修正の理由によるものでありますが、加えて連結子会社の飲料メーカー向け売上が順調に推移、中国国内での生豆販売の増加した結果、前回予想値を上回ったものであります。

(2) 個別

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、家庭用商品、中食向けお弁当・惣菜等に力点を置いて営業活動を展開しました。利益面につきましては、コロナ禍が長引いたことによる交通費等の減少した結果、前回予想値を上回ったものであります。

II. 2022年3月期通期業績予想の修正について

1. 2022年3月期通期業績予想値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	44,378	889	864	518	67円28銭
今回修正予想(B)	45,692	1,107	1,121	646	83円81銭
増減額(B-A)	1,313	217	256	127	—
増減率	3.0%	24.5%	29.6%	24.6%	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期)	40,512	910	837	469	60円95銭

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	38,460	467	324	42円15銭
今回修正予想(B)	39,566	537	365	47円35銭
増減額(B-A)	1,105	69	40	—
増減率	2.9%	14.9%	12.3%	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期)	36,251	607	307	39円87銭

2. 修正の理由

(1) 連結

主として「(2) 個別」の修正の理由によるものであります。

(2) 個別

コーヒー相場の高騰、海上コンテナ不足が続くことが想定されますが、当第2四半期累計期間までの実績を踏まえ、売上高、利益面ともに予想を上方に修正するものであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う期末配当予想に変更はありません。2021年5月14日に公表いたしました予想（1株12円）を据え置くことといたします。

※ 上記業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上